

はやく火をおこせえ～

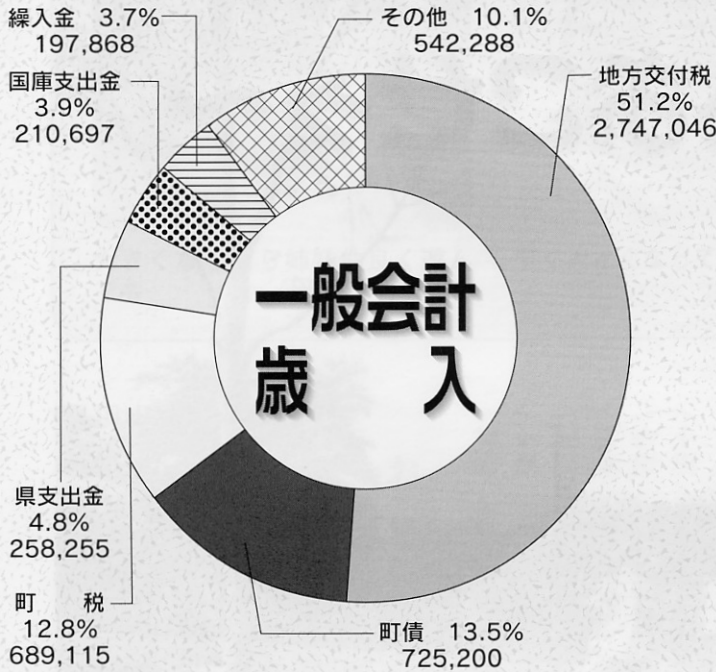


9月27日 金木小学校炊事遠足(オートキャンプ場)

前年度対比で

6億176万円の減収

収入済額 53億7,047万円



9月に開かれた定例議会にて、平成13年度の一般会計と特別会計の決算が認定されましたので、あらましをお知らせします。
 一般会計決算額では、歳入総額で53億7046万9735円（対前年度比10.08%減）、歳出総額で52億3174万6721円（対前年度比10.39%減）となっています。
 単純に差引いた形式収支の1億3872万3014円から、繰越明許費1497万2000円を差引いた実質収支は1億2375万1014円の赤字で、この内、3375万1014円を財政調整基金へ、7000万円を減債基金へ積立し、残りの2000万円を繰越金として翌年度の歳入に編入しました。

過去10年間一般会計決算算出の推移



町税内訳

	収入済額	収入未済額
町民税	247,450千円	15,547千円
固定資産税	335,741千円	72,386千円
軽自動車税	19,242千円	1,205千円
町たばこ税	86,682千円	0千円
計	689,115千円	89,138千円

町民1人当たりの町税負担額

総額 58,207円

※1人当たりの金額は、平成14年3月31日現在の町の人口11,839人で割ったものです。

町民税 20,901	固定資産税 28,359	町たばこ税 7,322
---------------	-----------------	----------------

厳しい財政状況での実質収支は

1億2,375万円の黒字

町民1人当たりに使われたお金

総額 441,908円

※1人当たりの金額は、平成14年3月31日現在の町の人口11,839人で割ったものです。

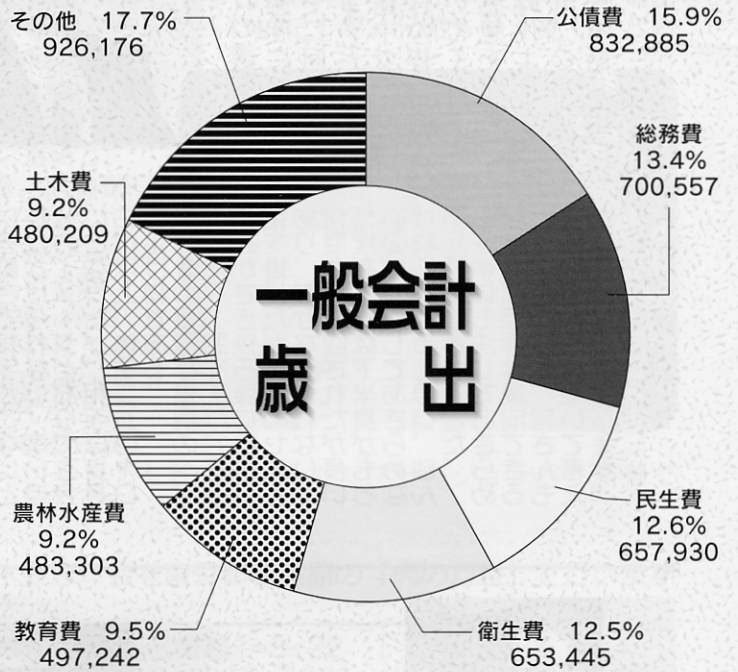
公債費	70,351
総務費	59,174
民生費	55,573
衛生費	55,194
教育費	42,000
農林水産費	40,823
土木費	40,562
その他	78,231

主な歳出の内訳

(単位:千円)

◆総務費・消防費	
行政電算処理委託料	8,628
地方バス路線維持補助金	8,409
交通安全対策費	7,770
納税貯蓄組合報奨金	13,508
常備消防費	303,259
嘉瀬コミュニティ消防センター整備事業	107,814
◆民生費・衛生費	
重度心身障害者医療費助成	23,220
介護保険特別会計繰出金	119,831
国民健康保険特別会計繰出金	93,527
老人保健特別会計繰出金	51,639
西北五環境整備事務組合負担金	62,258
公立金木病院組合負担金	226,786
◆農林水産費	
適地適作推進事業補助金	9,823
あおり野産産地育成強化事業	12,605
中山間地域等直接支払制度交付金	20,606
ふるさと農道緊急整備事業工事費	108,235
農業集落排水事業特別会計繰出金	26,866
ふるさと林道緊急整備事業負担金	51,000
◆商工費	
県信用保証協会貸付金(近代化資金)	17,000
商工会助成金	4,000
桜まつり助成金	6,000
園内散策道舗装整備及び外灯設置工事	54,399
県営中山間水と土ふれあい事業負担金	7,500
三味線演奏者派遣業務委託料	6,000
◆土木費	
道路維持費	119,901
防雪対策費	104,655
新ふるさとづくり町道整備事業費	194,579
◆教育費	
金木小学校管理費	53,032
川倉小学校管理費	14,856
嘉瀬小学校管理費	35,189
喜良市小学校管理費	25,296
金木中学校管理費	71,120
金木南中学校管理費	32,920
公民館費	55,240
太宰治記念館管理運営費	27,053
芦野グラウンド改修工事(繰越明許)	21,504
ジャンプ台設置工事費	28,494
◆その他	
長期債元金	607,113
長期債利子及び一時借入金利子	225,772

支出済額 52億3,175万円



特別会計

国民健康保険	歳入	1,537,022,631円
	歳出	1,443,358,521円
老人保健	歳入	1,017,432,604円
	歳出	1,043,409,522円
農業集落排水事業	歳入	366,481,814円
	歳出	365,388,814円
介護保険	歳入	764,250,239円
	歳出	752,198,704円
水道事業	収益的収入	307,446,188円
	収益的支出	301,894,000円
	資本的収入	11,655,000円
	資本的支出	193,771,442円

県立金木高等学校 創立50周年記念講演

金木高等学校（校長 岩城徹）で十月九日、創立五十周年を記念して元小結の舞の海秀平さんを講師に招いて記念講演会が開催されました。

岩城校長が舞の海さんの高校時代の相撲部顧問であり恩師だったことから、今回の講演となったものです。

「決してあきらめない」を演題にした講演会には、生徒や住民ら約四百人が集り、ユニモアで

非常にわかりやすい相撲人生などの話に聞き入っていました。

講演を終えた舞の海さん

は校長室で、「今日の講演会での金木高校生の態度には感心しました。今まで二回ほど他高校で講演してきましたが、あまりにもひどく途中でやめなくなりましたが、今日の皆さんは静かで真剣に聞いてくれて感激しました」と感想を述べ「現在は現役力士時代より多忙の日々で、体重も二〇キロ減りました」と近況を話していました。



「決してあきらめない」

（要約）

角界入りに家族は全員反対、しかも身長が百七三cm以上なければならず足りない分はシリコンを挿入したが、三日間一睡もできず自まいはする、食べれば吐くで大変だったが、どうにか新弟子検査に合格し幕下付け出して大相撲の第一歩を踏み出すことになった。

横綱曙との対戦は、まともな戦って勝てる相手ではないので癖を研究した。そうして三所攻めの技は完成したが、自分の予想している動きで相手がこないと思いがかけられない。幸い自分のイメージどおりの立会いとなったが、相手は身長二m以上、体重二五〇キロの化け物である。

自分の目線は横綱のヘソのあたり。頭を下げて潜ることができ後ろ腰に回り、足を掛けたが大木のセミであり、なかなか倒れない。何度も振り回されたが長い相撲を取れば下半身がもろいので、決してあきらめなければ勝てると思ひ、踏ん張り勝つことができた。何事にも決してあきらめなければ目標は達成できると思ひますので、皆さんも今日の私の話を聞いて考えていただければと思います。

金木町連合婦人会

創立四十周年を祝う



創立四十周年を迎えた金木町連合婦人会の記念式典が十月九日、中央公民館で関係者及び来賓約百九十名が出席して盛大に開催されました。

式典では、福山初枝会長が「男女共同参画社会を目指し、山積する課題を乗り越える覚悟でございませう」とあいさつ。続いて同会から婦人会事業に貢献した方々への表彰状授与、町から同会へ感謝状が授与されました。

来賓として鳴海町長が「今後とも婦人の地位向上と町発展のため、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします」と祝辞を述べました。

引き続き行われた祝宴では、アトラクションが披露され、四十周年記念に花を添えていました。



あいさつする福山会長



表彰状の授与

アトラクション



金木南中学校3年生が命の尊さを学び父・母性を養う



金木南中学校(校長 小林榮一)の三年生五十四人に生命の尊厳や乳幼児とのふれあい体験を通して父性や母性を養いながら「ふれあいセミナー」が九月二十日、中央公民館で開催されました。

日本キリスト教会弘前西教会の石川敏一牧師による「命の尊さ」と題した講演が行われ生徒たちが真剣に聞きっていました。

講演を終えた石川牧師に生徒たちへの一言を伺ったところ「君たちの未来はすてきな未来です。未来が開けています」と話していました。

この後、生徒たちは八グループに分かれて三十一人の赤ちゃんたちと「ふれあい体験学習」を行いました。抱っこやおムツ交換、授乳などを体験し、お母さんたちへ妊娠期間に気をつけたことや出産の感想、子育てなどの質問をして、育児の喜びと大変さを実感していました。



生徒たちの感想

- ◎講演を聞いて
 - 自分のこれからの人生を見つめなおそうと思いました。
 - 「命」というものについて普段あまり考えてなかったので、講演を聞いてちょっと考えさせられた。
 - 生命の大切さ、生命の重さを再確認した。
 - 命に、あっていいものと、なくてもいいものなんてない、ということが一番印象的でした。
- ◎子どもとふれあってみて
 - よく母などが「赤ちゃんから目が離せない」という理由がなんとなくわかった。
 - 子どもの行動が良く分からない時が多くて少し困った。
 - 赤ちゃんは生まれる前も、生まれてからもとても大変だと思った。
 - 赤ちゃんの食欲はすごいと思った。

津軽三味線会館で

現場実習

五所川原工業高校(校長 大桃 助)情報技術科二年生三人が十月三・四日の二日間、津軽三味線会館で現場実習を行いました。

同校では、産業現場等における体験学習を通して専門分野に関する知識や技術を総合的に理解させ、進路意識の啓発や望ましい勤労観・商業観を育成するために実習を行っています。

実習に訪れた喜良市の葛西笑子さん、嘉瀬の伊藤澄信さん、蒔田の徳田千由希さんの三人は担当者の実習説明を受け、受付での接客、館内放送、音響機械の操作などの実習をこなし、働くことの大変さを学んでいました。



葛西 笑子さん

「この2日間を通してやっぱり仕事は大変でした。これから将来の職業決めるのにいい参考になると思います」



伊藤 澄信さん

「今回の体験実習で、接客に気を使いましたが、職場の感じがつかめ、貴重な体験ができて良かったです。」



徳田千由希さん

「この現場実習を通して、今自分が何をやりたいのか、いまの自分に何ができるのか。そういうことを感じました。今の自分を見つめ直してこれからの人生を考えていきたい」

